

問 4.2

1. (i) 単位元の存在.

恒等写像 $1 \in \text{End}(G)$ は単位元となる.

$$\therefore 1 \circ g(x) = 1(g(x)) = g(x), g \circ 1(x) = g(1(x)) = g(x)$$

(ii) 結合律

$$(f \circ g) \circ h(x) = f(g(\cdot)) \circ h(x) = f(g \circ h(x)) = f(g(h(x)))$$

$$f \circ (g \circ h)(x) = f \circ (g(h(x))) = f(g(h(x)))$$

$$\therefore (f \circ g) \circ h(x) = f \circ (g \circ h)(x) \text{ であり、結合律を満たす。}$$

以上より、 $\text{End}(G)$ は $f \circ g$ についてモノイドとなる。

2. $\langle 3, 5 \rangle = \cup(\mathbb{Z}/16\mathbb{Z})$ とする、 $\text{ord}(3) = 4 \leq 4 = \text{ord}(5)$ とする。

$a=3, b=5$ は条件を満たす。

3. $f(x) = x^3$ とすると、 $|\text{Im}(f)| = 8 = |G|$ とする。最大とする。

$$(f(1)=1, f(3)=11, f(5)=13, f(7)=7, f(9)=9, f(11)=3, f(13)=5, f(15)=15)$$

$$\forall x, y \in G (x \neq 1, f(xy) = (xy)^3 = x^3 y^3, f(x)f(y) = x^3 y^3)$$

よって、 f は準同型写像である。

4. $f(x) = x^2$ とすると、 $|\text{Im}(f)| = 2$ とする。

$$f(x) = \begin{cases} 1 & (x=3, 5, 11, 13) \\ 9 & (x=1, 7, 9, 15) \end{cases}$$

$$\forall x, y \in G (x \neq 1, f(xy) = (xy)^2 = x^2 y^2, f(x)f(y) = x^2 y^2)$$

よって、 f は準同型写像である。